

NEWSLETTER

インド・ウッタラカンド州山地災害対策プロジェクト (TCP)

合同調整委員会について

合同調整委員会(JCC)は、プロジェクトを円滑に推進するために必要な関係者によって構成され、以下のような働きがあります。

- 1) プロジェクトの活動計画や年間計画の承認。
- 2) 1)の年間計画の成果やプロジェクトの活動全体の進行の確認。
- 3) プロジェクトに関する課題について確認、意見交換を行い、正しい対策を提言。

JCCは少なくとも年1回、または必要に応じて開催されます。

第2回合同調整委員会の開催



ウッタラカンド州森林局のマントバン・ホールにて

2018年2月13日に、ウッタラカンド州政府の首席次官補(森林部門担当)のランビル・シン氏が議長となって第2回合同調整委員会(JCC)がデラドゥンにて開催されました。

プロジェクト・ダイレクターであるマリック氏によるプロジェクトの経過報告があり、続いて原短期専門家が3つのモデルサイト(ニルガード、ジャワディ、パドリ)の計画について詳しい説明を行い、宮嶋長期専門家により2018年度の本邦研修についての説明が行われました。

上記のプレゼンテーションの後、出席者はプロジェクトの課題事項について意見交換を行い、プロジェクト活動の進展のためにそれぞれの役割を果たす事で一致しました。

ウッタラカンド州森林局トップがニルガード訪問

2018年2月23日、ウッタラカンド州森林局のトップである一等首席森林保護官のジェイ・ラジ氏を含むウッタラカンド州森林局職員の一行が、プロジェクトの1つ目のモデルサイトであるニルガードを訪問しました。ジェイ・ラジ氏はニルガードで施工予定の対策工事に関心が高く、プロジェクトのチーフ・エンジニアであるジェイ・クマール・シャルマ氏がその説明を行いました。ジェイ・ラジ氏はニルガードで計画されている工法の選定理由について尋ねたり、実際の工事開始後に、再びサイトで工事状況を見ることに意欲を示していました。



ニルガードについて

ニルガードはリシュケシュの近くにあります。リシュケシュはヒンドゥー教徒だけでなく外国人もヨガの修行のために訪れる町です。このエリアは2013年の水害でウッタラカンド州の他の山岳地帯と同じように被害を受けました。ニルガードはリシュケシュからルドラプラヤグをつなぐ国道7号（被害当時は国道58号）に面しており、いまだに続く土砂の流出が、交通の妨げになっています。

ニルガードの対策工

保全対象地域は、集水域も含めて約12haです。流水処理と、土砂の動きの制御がこのサイトでの主な対策になります。

対策工事は、3基の鋼製自在枠、籠枠、流路工等を組み合わせたものになる予定です。

■ 鋼製自在枠

溪床の傾斜を緩やかにするために設置されます。



■ 流路工

流水のエネルギーを減少させるために設置されます。



1番目のモデルサイト、ニルガード



ニルガードでは日本人専門家とエンジニアチームによる調査や作業が進められています。

7月に現地踏査が行われ、日本人専門家が対象地の対策案を作成し、また、測量機器だけでなく無人飛行機(ドローン等)やGPSを使用した地形調査を行う範囲を設定しました。そして、調査会社によって等高線地図、断面図が作成されました。

これらの調査をもとに、日本人専門家とエンジニアが現地調査を行い、災害発生メカニズムの解析や基本設計の作成を行いました。

基本設計は、さらなる詳細な調査を加えることで詳細設計の基礎になります。



プロジェクトの会議室にて対策工を正しく導くために、調査や作業が終わるとTCPメンバーはその結果を共有し意見を交換します。